

7 環境保全に関する取組

上下水道事業は、循環資源である「水」を利用してサービスを供給する事業であり、また一方では、日本で使用されている総電力量の約1.5%を消費している「エネルギー消費産業」といった側面も持っています。

このため、事業運営に当たっては、環境負荷の低減や環境保全について、積極的に取り組んでいく必要があります。

(1) 有効率・有収率の向上

水資源の有効利用といった面から、有効率・有収率の向上は極めて重要な課題と考えており、今後も老朽管の更新や漏水防止対策、不明水調査などの向上策に積極的に取り組む必要があります。

(2) 環境負荷の低減

水道事業においては、仁井田浄水場と豊岩浄水場における浄水処理汚泥の乾燥処理方式を、機械脱水から天日乾燥に変更するなど、これまでも省資源、省エネルギーに配慮した事業運営に努めてきました。

また、浄水発生土や建設発生土の再利用などにも努めてきたところであり、今後も継続して実施していく必要があります。

下水道事業においては、これまでも機器類の更新時に省エネルギー対応のものを採用するなどの取組を行ってきました。

加えて、上下水道局庁舎大規模改修において、屋上の一部と耐震外部フレームに太陽光発電施設を設置しました。

今後も経済性、効率性を考慮しながら省エネルギー対策や資源の循環利用などを行っていく必要があります。



仁井田浄水場天日乾燥床



上下水道局川尻庁舎